

積雪寒冷地における社会資本の戦略的維持管理

【計画の進め方『新たな時代を見据えた投資の重点化』戦略的目標『森と水の豊かな北の大地』への対応】

『計画の進め方』では、「新たな時代を見据えた投資の重点化」の方向が示され、今後、老朽化した社会資本ストックの急速な増加が想定される中、既存のストックをできる限り有効に活用していくための、総合的な資産管理手法の導入によるライフサイクルコストの最小化、点検から補修に至る管理の高度化による既存ストックの長寿命化など、計画的・効率的な維持・管理や更新の取組を強化することとしている。

また、『森と水の豊かな北の大地』では、「循環型社会の構築に向けた先駆的な取組により、環境と経済が調和した地域社会の形成を進める」としており、老朽化した公共施設の適切な維持管理や改良整備等により施設機能を適切に維持し、ライフサイクルコストの縮減及び施設の長寿命化を推進することとしている。

「戦略的取組」
を取り巻く
現状・課題

- ・高度経済成長時代に集中投資した社会資本の高齢化が進行することから、老朽化に伴う事故や災害等が懸念されるとともに、維持管理費・更新費が急増する
- ・特に北海道では積雪寒冷地の過酷な気象条件における凍害劣化や結氷による被害、広範囲に分布する泥炭性軟弱地盤等の地盤沈下による被害など本州とは異なる気象・地質条件下での技術的課題が存在
- ・更に、北海道の多くの市町村では、「専門的知見がない」、「財政的に実施困難」、「対応できる技術者がいない」等の事情から、社会資本の定期的な点検すら実施できていないのが現状

具体的
戦略

マネジメントの強化

積雪寒冷地における維持管理技術の展開

技術研究開発の推進

地方公共団体等への支援

検討項目

- ・ライフサイクルコストの縮減
現状把握と早期補修（点検や老朽化対策）
更新時期の平準化（長寿命化計画策定）

- ・積雪寒冷地維持管理技術の体系化・基準化
- ・積雪寒冷地における管理・マネジメント技術の研究開発への重点化
- ・試験フィールド等での技術開発の推進

- ・産（地域建設業）・学・官連携での人材育成
- ・市町村等の施設管理者への技術的支援の実施
- ・積雪寒冷地技術の国内外への情報発信

施策群

- 道路構造物の予防保全対策
- 河川管理施設、都市公園施設の長寿命化
- 住宅・建築物の耐震化及び長寿命化促進
- 港湾施設の維持管理計画を踏まえた適切な老朽化対策

- 河川構造物の凍害劣化補修に関する研究開発
- コンクリートの凍害・塩害劣化抑制に関する技術開発
- 泥炭地域における基幹的水利施設の補修に関する研究開発

- 橋梁点検等の技術支援・現地研修会
- 土木技術のホームドクター
- 土木技術の支援窓口の開設

施策群の連携機関：北海道、市町村、（独）土木研究所寒地土木研究所、北海道道路メンテナンス会議
日本再興戦略との対応：安全・便利で経済的な次世代インフラの構築